

# 魅力満載!! 三江線

江の川沿いの風情



《7》

美郷町から川本町方面へとカヌーで川下りをしたときだった。橋の上から望む明神岩も立派だが、カヌーに乗って川面から見上げる姿

に大きな感動を覚えたものだ。その存在感だけでなく、松などの樹木が形よく生えた造形の美しさも、一見の価値があると

線でこの駅に降り立ちたい」と思ってきた。そのときは、竹駅から歩いてすぐの港橋に立ち、自然がつくり上げた美しい明神岩を、また眺めてみたいと思う。(NPO法人「結まいるぷらす」かわべまゆみ、江津市桜江町在住) 隔週土曜日掲載

美郷町にあるJR三江線の竹駅にほど近い港橋に立つと、江の川の上流側の左手に、堂々とそびえ立つ大岩が見える。

高さ約二十メートルのこの岩は「明神岩」と呼ばれ、頂上には厳島神社が鎮座し、市杵島姫命(いちきしまひめのみこと)が祀

(まつ)られている。厳島神社と言えば、多くの人が広島県にある世界遺産を思い浮かべるだろう。広島と島根を結ぶ江の川にふさわしい「神様」だと、妙に納得して

しまった。地元の方の話では、この水神様のおかげで、地

域の子どもたちは、水難岩の頂上の社殿から参道に沿って、二十ほどの灯

が増水するときは、明神岩の底を白い大蛇が押し

上げてくれるので、社殿が浸水しないという伝説も残されている。

実際に百年に一度とも

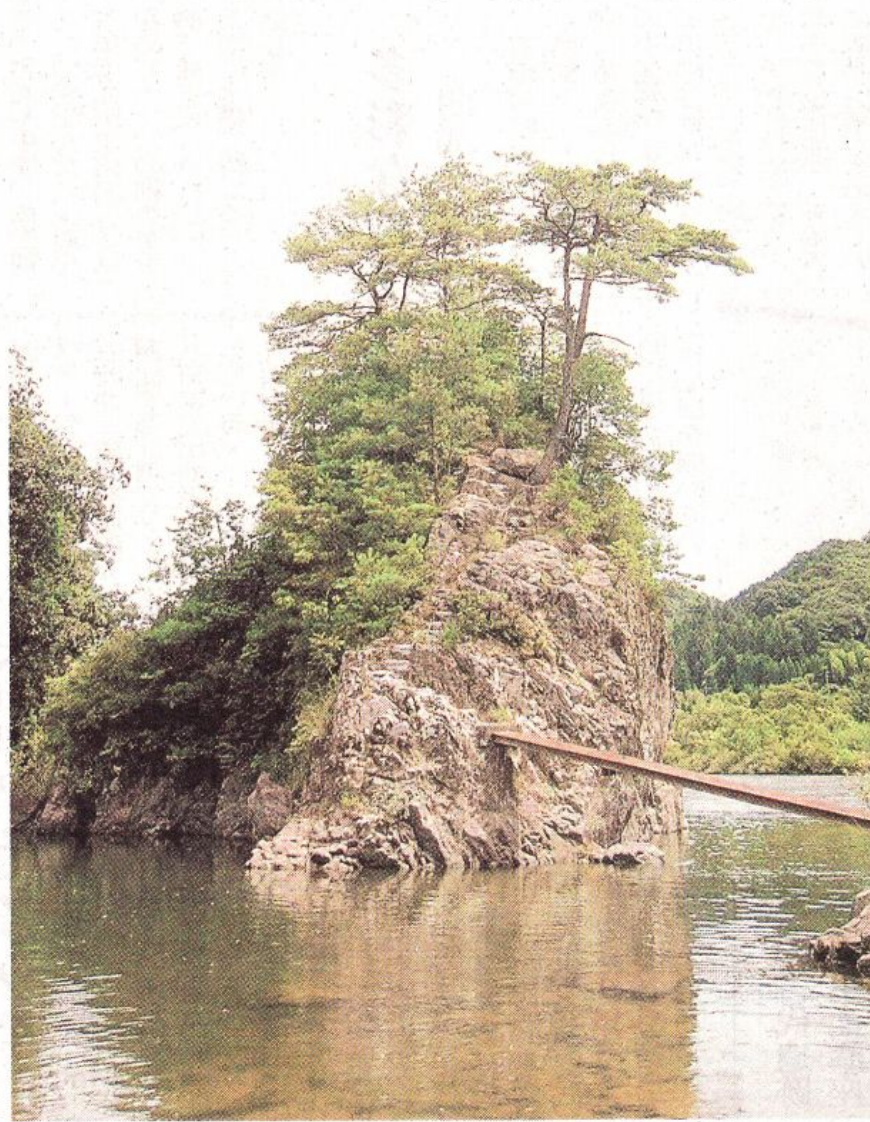
言われた一九七二年の大

水害のときでさえ、社殿が浸水することはなかったのだそうだ。

こういったご神徳が現れるのも、二十年ごとの遷座祭や毎年八月十五日の夏例祭など、地元の集落の皆さんが、大切に



この夏例祭では、明神岩の頂上の社殿から参道に沿って、二十ほどの灯が増水するときは、明神岩の底を白い大蛇が押し上げてくれるので、社殿が浸水しないという伝説も残されている。江の川眺める自然のライトアップは、とても幻想的な光景だ。



## 明神岩・厳島神社

# 感動誘う自然の造形美

自然の造形美を楽しめる明神岩